

福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）

●こうすっぺ西側イメージアップ作戦

矢吹町西側地域現代版里山づくり事業 ～里山の教科書づくり～

隈戸川流域を中心とする西側地域で“ステキな里山づくり”を目指し日々活動を続けている「こうすっぺ西側イメージアップ作戦」。

平成21年度の主要テーマは「里山の教科書づくり」。昨年6月から約10カ月間もの期間をかけ編集作業を行い、3月下旬に完成しました。

この「教科書」は、西側地域の過去・現在・未来をテーマに、子どもから大人までがこの地域に親しみを持てる内容で構成されており、今後のまちづくりや町のPRに、大いに活躍してくれることでしょう。

なおこの教科書は、今月の「広報やぶき」と同時に、各世帯にお配りしています。

◆教科書の内容は…

●現在

…西側地域里山マップ、里山の植物、水辺の生き物、川と里山風景（三十三観音史跡公園、隈戸川5つの花広場、里山と子どもたち）、里山散策コース

●過去

…古代史、八幡太郎義家と「やぶき」、袖が館、奥州道中と宿場、隈戸川、子どもたちの昔の遊び、「うませり」

●未来

…西側地域未来マップ



教科書編集作業の様子

●移住者ネットワークふくしま

地域住民と新住民の交流事業・地域活性化事業

他県から移住してきた新住民と地域住民との交流を図りながら、ともに手を携え地域の子どもの育成と、地域活性化の取り組みに向けた事業を展開している「移住者ネットワークふくしま」。

今年度は、地域の人々と共に「池さらい」や「布ぞうり作り」を行ったほか、矢吹をはじめ県内の酒蔵から提供された銘酒を首都圏の方にアピールする「福島呑みの市」を開催し、たくさんの方々に福島（特に矢吹）を知っていただきました。今年に入ってから、福島の野菜や果物など名産品をインターネットで販売する「福島名品・こだわり屋」をオープンさせました。この店の魅力は生産者と消費者が直に結びつくことで、今後矢吹の活性化が期待されます。



布ぞうり作り教室の様子

現在、地域の方々が自主的・主体的に行う様々な取り組みが各地で実施されています。

このような地域づくり団体のみなさんを支援する制度が、福島県で行っている「福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）」です。

矢吹町においても、4団体がこの支援を受け、まちづくり・産業振興・やぶきのPRなど、さまざまな取り組みをこの一年間実施してきました。今回はその概要をご紹介します。

特集 ～自分たちの地域は自分たちの力で～

●矢吹町国際観光交流協議会

矢吹町国際観光交流事業

町内の農業協同組合や町商工会、経営懇話会、町などで構成される、矢吹町国際観光交流協議会が「矢吹町国際観光交流事業」を実施しました。

現在、年間3万人もの外国人観光客が町を訪れますが、そのほとんどが韓国人のゴルフツアー参加者です。その韓国人観光客を対象に、「日韓親善ゴルフ大会」や「日韓交歓会」などで交流を深めたほか、町内外で開催されたお祭りやイベントを案内する「イベントモニターツアー」なども行い、ゴルフ以外の矢吹町または周辺地域の魅力についてもPRしました。

また、「韓国語講座」も開催し、町民のみなさんの韓国に対する理解を深め、交流の活性化を図る取り組みも実施しました。



日韓親善ゴルフ大会後の交流会

●やぶき軽トラ市実行委員会

奥州街道やぶき軽トラ市

「中心市街地（まちなか）にかつての賑わいを取り戻そう！」のローガンの下開催された「やぶき軽トラ市」。軽トラックや軽ワゴン車、軽自動車などが一堂に会し、路上で物品を販売するもので、昨年6月から12月まで、JR矢吹駅東口広場で毎月第3日曜日の午前中に開催されました。

出店者は農産品やお弁当などの食べ物、雑貨、花などの商品から、日用品のフリーマーケット的なものでさまざま。毎回数千人の来場者で賑わいました。

今年3月からは奥州街道（旧国道）沿いに会場が移され、「軽トラ市」は更にパワーアップ！最終目標は軽トラ70台、来場者は4千人以上を目指しています。

※毎月第3日曜日、午前8時～11時15分まで、奥州街道（旧国道）本町地内で開催しています。ぜひおいで下さい。

※出展者募集！

くわしくは同実行委員会（町商工会 ☎42-4176）まで。

